

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社 吉舎工場

(2) 事業所の所在地

広島県 三次市 吉舎町 矢井 428-1

(3) 業種

1121 綿・スフ織物業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度を基準年度とし、平成23年度から平成25年度までの3年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成20年度	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	27,199	26,383 3.0	23,257 14.0	29,752 (9.0)	25,962 5.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	34	33 2.0	5 85.0	62 (86.0)	101 (200.0)	100.0	100.0
メタン	48	48 2.0	35 27.0	35 27.0	40 18.0	100.0	100.0
一酸化二窒素	2	2 1.0	1 21.0	1 21.0	1 21.0	100.0	100.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	27,282	26,465 3.0	23,299 15.0	29,851 (9.0)	26,104 4.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100      削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(百万m<sup>3</sup>)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成20年度	平成 年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	359	100.0	490 -37.0	499 -39.0	520 -45.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0	100.0	0 76.0	1 -136.0	2 -356.0	100.0	100.0
メタン	1	100.0	1 -17.0	1 8.0	1 -25.0	100.0	100.0
一酸化二窒素	0	100.0	0 -26.0	0 0.0	0 -21.0	100.0	100.0
フロン類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	360	100.0	491 -36.0	500 -39.0	522 -45.0	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	154.0	100.0	203.3 -32.0	191.6 -24.0	193.1 -25.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100      削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を3.0%削減	・省エネ機器の使用を推進する ・高効率照明器具への更新
2	燃料使用量の削減	A重油の使用を4.0%削減	・廃熱の有効利用 ・運転管理により燃料転換率を上げる ・運転管理により使用蒸気量を下げる
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項 目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減		・分別収集及び資源化の徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。